

## 【骨折】

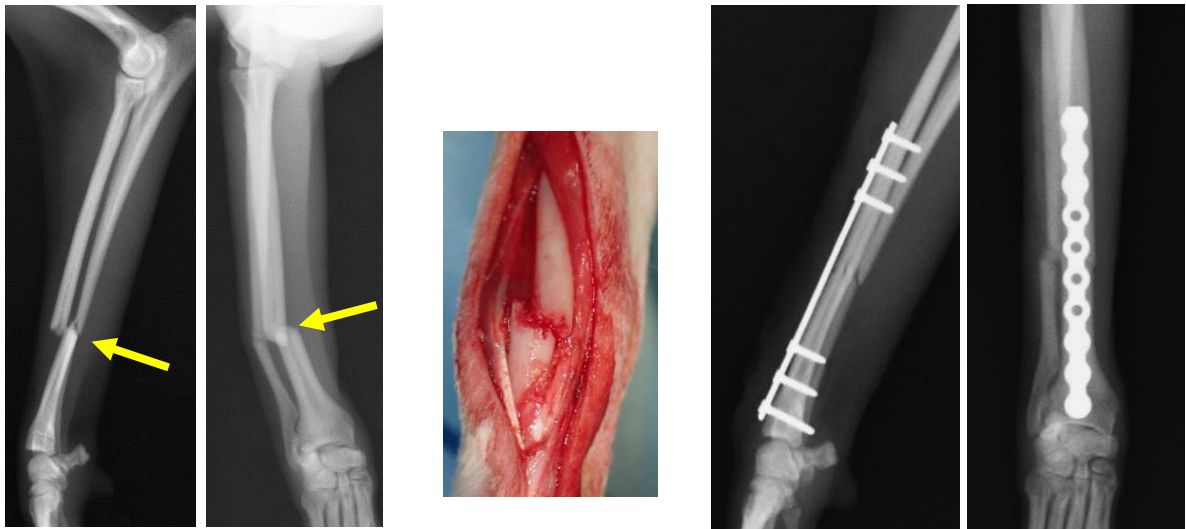
室内飼いの小型犬(トイ犬種)の増加に伴い、抱き上げた際の落下や段差からの飛び降りて骨折してしまう機会が増えています。また、交通事故や高所からの落下による骨折は衝撃が大きいため、粉碎骨折や脱臼を伴う場合があります。

これらの症例に対して、金属製のインプラント(プレートやスクリュー、ピン、ワイヤーなど)を用いた内固定術を第一選択としています。内固定のメリットは、受傷後早期に安定化することで負重が可能になるため、機能回復を早めることができます。ただし、インプラントの破損や感染、癒合不全などのリスクもあるため、術後は経過観察が必要となります。

### ●症例 1:トイプードル、11 ヶ月、2kg

(診断) 橈尺骨骨幹部横骨折

(治療) 1.5mm ロッキングプレート固定



### ●症例 2: ラブラドル、1 歳、25kg

(診断) 脛骨骨幹部粉碎骨折

(治療) 3.5mm ロッキングプレート固定+2.7mm ラグスクリュー固定 → プレート抜去

